



図 2.3.4 石巻市周辺の津波浸水範囲³⁾



図 2.3.5 仙台市・名取市周辺の津波浸水範囲³⁾



図 2.3.6 いわき市周辺の津波浸水範囲³⁾

2.4 被害概況

東日本大震災においては、地震と津波により東日本を中心に甚大な被害が発生した。津波による被害が顕著であり、特に岩手県、宮城県、福島県で甚大であるが、その周辺の北海道・青森県・茨城県・千葉県などでも大きな被害が発生している。

津波により住宅のみでなく、港湾施設、下水道施設、道路施設、鉄道施設の流出・損壊等の被害が発生している。表 2.4.1に示すように、内閣府によると東日本大震災の被害総額は約 17 兆円と推計されている。

首都圏においても湾岸地区において、広域的に液状化が発生しており、住宅等の沈下や、水道・下水道・ガスなどのライフラインに甚大な被害が発生した。また、福島県の原子力発電所の被災により、電力供給能力の不足が発生し、東京電力管内では計画停電が実施された。これに伴い、水道施設の運転・管理に多大な影響が生じた。

表 2.4.1 東日本大震災における被害額の推計（内閣府 6 月 24 日）¹⁰⁾

項目	被害額
建築物等 （住宅・宅地、店舗・事務所、工場、機械等）	約10兆4千億円
ライフライン施設 （水道、ガス、電気、通信・放送施設）	約1兆3千億円
社会基盤施設 （河川、道路、港湾、下水道、空港等）	約2兆2千億円
農林水産関係 （農地・農業用施設、林野、水産関係施設等）	約1兆9千億円
その他 （文教施設、保健医療・福祉関係施設、廃棄物処理施設、その他公共施設等）	約1兆1千億円
総計	約16兆9千億円

（注）各県及び関係府省からのストック（建築物、ライフライン施設、社会基盤施設等）の被害額に関する提供情報等に基づき、内閣府(防災担当)においてとりまとめたもの。今後、被害の詳細が判明するに伴い、変動がありうる。また、四捨五入のため合計が一致しないことがある。